

(別紙様式)

## 令和7年度学校評価の実施状況等調査

学校名	県立豊見城南高等学校
記載者名	教頭・大森 一郎

### 1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	1	1	26	0	0	29

※その他 ( )

### 2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	1	0	0				1

※その他 ( )

### 3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	98	315	0				413

※その他 ( )

### 4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームページ 2学校便り 3保護者への説明会 ④その他(令和8年度PTA総会)
学校関係者評価	①ホームページ 2学校便り 3保護者への説明会 ④その他(令和8年度PTA総会)

### 5 令和6年度の学校評価を踏まえ、令和7年度改善した点(いじめ問題に関すること等)

①校舎内外の施設・設備の点検と安全管理を徹底し、修繕や環境整備により、安心して過ごせる環境づくりを図った。
②職員の超過在校時間が改善しており、労働環境について肯定的な成果が確認された。
③Teamsに「不在情報」というチャンネルを新たに設ける等の新しい取り組みにより、一層の校務効率化に取り組んだ。
④バレーやアーチェリーに加え、サッカー部も活発に活動しており、好成績を上げ始めている。
⑤教育相談週間の設置や生徒の意見を反映した校則の見直しにより、生徒が安心して過ごせる学校作りが図られた。

### 6 令和7年度の学校評価で明らかになった課題

①老朽化している特別棟の施設・設備の更新や校内美化等、環境整備の更なる取組が必要である。
②PTAや地域との連携促進、および保護者や地域への積極的な情報発信を強化する。
③学校が掲げる各コースの特色や、それに基づいた授業・進路指導の取り組みを進める。
④職員が専門性を発揮するための研修や教材研究に、十分な時間を確保する必要がある。
⑤部活動による学校活性化には取り組んでいるものの、更なる取組強化が求められる。

### 7 令和7年度の学校評価を活かした令和8年度の改善点

①施設・設備の整備と校内美化を推進し、教育活動の基盤となる安全で快適な学習環境の構築に努める。
②「総合的な探究の時間」等において、地域企業との連携により、本校教育活動のさらなる魅力化を図る。
③オンライン学習ツールの活用で特進コースを活性化し、コースの特色を引き出す指導体制を構築する。
④本校の教育課題解決に繋がる実践的な校内研修を充実させ、教職員の専門性向上を図る。
⑤外部指導者の活用や活動時間の適正化により、部活動の活性化と働き方改革の両立を図る。